

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部
平成30年度 12月号
平成30年12月15日 発行



いよいよ師走を迎え、何かと慌ただしい毎日を過ごしておられることと思います。ついこの間までは、学校周辺の里山も錦に彩られて美しく、随分目を楽しませてくれましたが、最近は落ち葉がスロープや校庭に散り敷き、そうじの大変な毎日になりました。

私たち教員は2学期末の評価に大忙しの毎日です。それぞれの児童の2学期の学習や生活の様子・態度を振り返り、児童本人や保護者の皆さんにどのようにお伝えするかを真剣に考えながら評価に取り組んでいます。

児童たちには、各自で2学期を振り返り、新学期に向けて、新たな目標を設定してもらいたいと思います。2学期終業式まで、残り十日の学校生活を児童たちと一緒にしっかり過ごしたいと考えています。

12～1月の学校行事

月	日	曜	行 事		月	日	曜	行 事			
12月	16	日			1月	1	火	冬季休暇	元日		
	17	月				2	水				
	18	火				3	木				
	19	水				4	金				
	20	木				5	土				
	21	金	地域別説明会（八尾）			6	日				
	22	土				7	月				
	23	日	天皇誕生日			8	火	始業式			
	24	月	12/23の振替休日			9	水				
	25	火	終業式			10	木				
	1月	26	水	冬季休暇		個別面談		11	金	地域別説明会（香芝）	
		27	木			個別面談		12	土	週休日	
28		金				13	日				
29		土				14	月	成人の日			
30		日				15	火	感謝祭			
31		月				16	水				

※ 中学部・高等部の入試に関わる小学部の予定については以下の通りです。
1/20（日）の中学部入試（A日程）について
休日ですが本校6年生が実力テストとして受験するため、6年生のみ登校してもらいます。なお、1/21（月）は全学年、家庭学習日とします。
1/22（火）の中学部入試（B日程）と2/6（水）の高等部入試について
小学部は通常授業を実施します。

※ 1月の保護者会では教育講演会を開催することにしました。
以下のように日程を変更しますのでご了承ください。
1・2・3年保護者会 1/22（火）→1/23（水）

マラソン大会

12月7日（金）にマラソン大会を開催しました。天候にも恵まれて、児童たちは精一杯の力でマラソンに挑戦しました。1・2年は800m、3・4年は1200m、5・6年は1600mの距離を走り、完走した児童たちは皆大きな達成感を味わうことができました。なお、各学年男女の最高タイムは以下の通りです。

男 子			女 子	
学年	氏 名	記 録	氏 名	記 録
1年	北 詰 友 哉	3分35秒	田 中 美 玖	3分59秒
2年	足 立 和 樹	3分22秒	徳 原 彩 旬	3分32秒
3年	廣 岡 蒼 大	4分59秒	増 田 桜 子	5分24秒
4年	松 村 史 悠	4分54秒	小 倉 日 菜 多	5分32秒
5年	中 村 大 和	7分02秒	一ノ木 七 海	7分19秒
6年	大 森 一 平	6分12秒	山 内 望 美	7分02秒



各種コンクール入賞者紹介

第47回 J A 共済奈良県小・中学生書道コンクール
半紙の部
銀賞【中央会会長賞】 1年2組 和田諒子（わだ りょうこ）さん
佳作 6年2組 清水美都（しみず みこと）さん

大和川クリーンキャンペーン2018 大和川【絵・ポスター・作文・写真】コンクール
ポスターの部 奈良県知事賞 4年2組 池上佳帆（いけがみ かほ）さん
絵の部 大和川水環境協議会賞 4年1組 辻本大晟（つじもと たいせい）くん

第62回全国学芸サイエンスコンクール
社会科自由研究部門
旺文社赤尾好夫記念賞（銀賞）
6年2組 利川佳穂（としかわ かほ）さん 「採水地を調べてみた」
読書感想文部門
旺文社赤尾好夫記念賞（銅賞）
5年1組 中村大和（なかむら やまと）くん 「あと少し、もう少し」
努力賞
2年1組 藤田清音（ふじた さやね）さん 「一どやってみたいオーケストラ」
努力賞
4年2組 池上佳帆（いけがみ かほ）さん 「『象のいない動物園』を読んで」
作文／小論文部門
旺文社赤尾好夫記念賞（入選）
6年1組 山内望美（やまうち のぞみ）さん 「テレビが消えた日」

香芝市少年の主張

12月1日（土）に香芝市ふたかみ文化センター市民ホールで開催された「平成30年度 香芝市少年の主張」において優秀賞を授賞した本校6年1組の西峠佑良さんが堂々と自らの作文を発表しました。



本校校長が教育者表彰を受けました

本校の藤田良一校長が、学校教育の振興に関し、特に功績が顕著であった教育者を表彰する「教育者表彰」を受けました。表彰式は11月30日に東京で行われました。これも保護者の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

教育者表彰に 安井校長ら4人

県教委 振興功績たたえ

県教育委員会は26日までに、平成30年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）の県内の被表彰者4人を発表し、30日に東京都の文部科学省で表彰式が行われる。

学校教育の振興に功績顕著な教育者の功労をたたえる表彰として、昭和34年から毎年行われている。

県内の被表彰者は次の通り。（敬称略、順不同）

安井孝至 奈良高 校 校長	堀部有子 大和 市立高田小学校 校長
奥村浩一 奈良市立 富雄中学校 校長	藤田良一 学校法人智弁 学園智弁学園奈良力レ ッジ小学校 校長

奈良市立富雄中学校 校長 奈良市立高田小学校 校長 高田市立高田小学校 校長 法人智弁学園智弁学園 奈良力レッジ小学校 校長

11月27日（火）の奈良新聞に掲載された記事

児童募集に関わってのお願い

下記の日程で「地域別学校説明会」および「学校説明会 in OSAKA」を実施いたします。保護者の皆様のお知り合いに、受験適齢期のお子様のいらっしゃる方がおられましたら、ぜひともご案内いただきたく存じます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。チラシなど必要でしたら各担任までご連絡ください。

地域別学校説明会

八尾市	平成30年12月21日（金）10：00～ 八尾市文化会館プリズムホール 4階 第2会議室
香芝市	平成31年1月11日（金）10：00～ 香芝市ふたかみ文化センター 2階 第2会議室
橿原市	平成31年1月18日（金）10：00～ 奈良県橿原文化会館 3階 第2会議室
羽曳野市	平成31年2月8日（金）10：00～ 羽曳野市市民会館 2階 第1会議室
王寺町	平成31年2月15日（金）10：00～ 王寺町地域交流センター リーバー王寺東館 5階 フリールーム3

学校説明会 in OSAKA

平成31年3月16日（土）10：00～
シェラトン都ホテル大阪 金剛の間

自治会における魔法の言葉

私はこの「町」に住んで十年になる。この「町」には旧村と新しい町が混在し、約15軒ほどの「丁」という小単位の自治会が五つあり、それが集まって約90軒で「町」という自治会を構成している。因みに、その先は「町」が集まって「区」、区が集まって「市」となるらしい。

「十年一昔」という言葉がある。「世の中は移り変わりが激しく、十年も経つともう昔のことになってしまう。また歳月の流れを、十年をひと区切りとして考えること」という意味らしい。しかし、『自治会』において、十年という時間は浅い。十年なんて何にも知らない新入りと見なされる。ところが、そんな新米の私の母は90軒の「町」の総代を務めている。たった十年しか住んでいない、普段仕事で家にいない、どこに誰が住んでいるのかも知らない、そんな母が地域を取りまとめる総代をやるのか？そして、そんな役割をくじ引きで決めていいものだろうか？とても疑問に思った。

任期は二年。残り約半年。母は積極的に何もしないようにしている。仕事をしているのでいそがしい事も理由のひとつだが、何よりも何もアクションを起こさない事が評価もされない代わりに批判もされない最善の策だからだ。何か新しい事をしようとすると「昔はこうだった。」とか、「古くから住んでいる人が積み立ててきたお金だから。」とか、「新しい人は経緯をしらないから。」などとなるのだ。私自身、以前、町の集まりに参加させて頂いたことがある。母の前任の方は本当に一生懸命に職責を果たそうとされていた。色々な事にチャレンジしようと多くの提案をしてくださったが、総会において「ありがとう」のスタンスでお話を聞いていた方はどれくらいいたのだろうか。子どもの私が聞いていて泣きそうになるくらい批判され責められているように見えた。特に印象に残った言葉がある。自治会における最も強力な魔法の言葉、「昔は…」だ。

これができると、ほぼ一撃でどんなに豊かな発想でもシュワシュワと泡となって消えるのである。実際母の話によると、新しい企画がなくなっていったそうだ。私自身もこの町の変化を実感したことはない。

そんなこんなで、現総代の母がやっている事といえば会議への参加（これもほとんど行っていない）、連絡事項の回覧、生活道路の補修や環境整備などの県や市への要望とちん情といった事務作業である。

私は言いたい。昔のことは大切にすべきだ。しかし、自治会では町の発展を阻害する事にもつながるのではない。町の発展を目指すのなら、新しいチャレンジには古くから住んでいる人が経験と人脈を活かして背中を押してあげればいい。起こりうる可能性を話し合い、協力すればいい。それができないのなら総代はくじ引きや持ち回りで決めるのはやめた方がいい。選ばれてきても承認しなければいい。この人は！と思う人をみんなで推せんし、お願いすればいい。正直、母が総代を務めている二年間、この町は何も変わっていないと思う。

もし、今、災害が起こったら？——総代の出番だ。自治会が力を発揮する時だ。

- ・「一人暮らしのお年寄りの方は何人いますか？」——「知りません。」
- ・避難所へ行った。「あの人がいない。」——顔も知らない方の安否を果たして確認できるのか？
- ・「大変だ！総代に知らせよう！」——「お仕事に行っていて連絡が取れません。」

これが私の「町」の現状だ。自治会の役割を一人一人が見直そう。何のためにあるのか？持ち回りで回ってくるからやっている。くじ引きで当たってしまったからやっている。みんなが入っているから仕方なく入っている。それでいいのか？自治会とはみんなが住みよい環境をみんなの力で作っていくためにあるのではないのか？暮らしやすくするための自治会が住民の首をしめるようなら、そんな自治会はいらない。批判しない自治会を目指そう！古い人と新しい人がもっと意見交流をし、協力し合える自治会を目指そう！魔法の言葉を「昔は…」から「ありがとう、これからは…」に変えよう！私が大人になった時、この町に住んでいてよかったと思える町づくりを今の大人に期待している。そうであれば私が大人になった時、自治会はきっと消滅している。